

モデナ、Modena

モデナは 1997 年に、ユネスコの世界遺産に登録されています。世界遺産の対象は、大聖堂（ドゥオモ）、トッレ・チヴィカ（ギランディーナ）、グランデ広場となっています。モデナは 12 世紀の自由都市時代を経て、13 世紀後半からエステ家の支配が続きました。エステ家はフェラーラで北イタリアのルネッサンスを咲かせた都市貴族で、法王に追われてモデナに來ました。

世界遺産であるドゥオモは 12 世紀に建立されています。大理石で建てられたロマネスクの立派な大聖堂です。ミラノの教会に良くあるファザードの丸窓はロンバルディ様式であることがわかります。ミラノのドゥオモと同様に大理石の維持のため一部が修復中です。ドゥオモの中に入ると、観光ではなく、まだ現役で使われている大聖堂を感じます。日曜日の午前中でもありちょうど、ミサをやっていたのでなおさら感じました。ミサ終了後に中を見て回りましたが、外見の華やかさと対象的で神聖な静けさを感じます。祭壇上のモザイクも印象的です。



残念なのは、88 メートルの高さを誇るトッレです。全体をカバーで覆われていました。もう、1 年以上になるようです。この塔はギランディーナと呼ばれていて市民の誇りとなっています。トッレはドゥオモの鐘楼ですので、鐘楼がカバーされているとドゥオモもかわいそうな気がします。もう一つの世界遺産の対象はグランデ広場です。グランデ広場は、ドゥオモの側面と裏面が広場に面しています。当然ながら、トッレもグランデ広場の一角となります。要するにトッレがカバーで覆われていることは世界遺産の半分を覆い隠していることになっています。



グランデ広場の周りは歴史地区であり、どこに行っても中世イタリアを見ることが出来ます。特に、ドゥカーレ宮殿は、大きくてすばらしい建物です。時々、宮殿内を公開するようで美術館等で写真を見ることが出来ましたが、ぜひとも博物館として毎日公開してもらいたいものです。美術館は、5,6分歩いたムゼイ宮殿にあります。それほど大きな美術館ではありませんが、コレクションはセンスの良い宗教画です。エルグレコの絵がありました。写真撮影は禁止ですが、それを知らずに何枚か撮ってしまいました。



もちろん、モデナの街はすばらしかったのですが、トッレがカバーで覆われていることもありましたが、世界遺産の割には物足りなさを感じました。個人的な意見ですが、ドゥオモにしてもミラノのドゥオモのほうが格が上ですし、街並もマントヴァのほうが雰囲気がいいですし、グランデ広場にして

も、ヴィジェーヴァノのドゥカーレ広場ほうがステキです。グランデ広場のカフェでパニーニとカフェを飲んでのんびりしたのですが、いつもの違いはそれほどありませんでした。只、一つ違うのは、カフェの太ったおばさんが英語を話せたことです。これにはびっくり出した。もちろん、親切なおばさんでした。ちなみにパニーニとカフェで 5 ユーロでしたので、世界遺産のカフェでも特別に高いわけではありません。美術館の受付の人（こちらは若い男女）も英語が上手でしたので、このあたりが、さすが世界遺産です。



もともと、パルマにちょっとだけ行くつもりだったのですが、ロゴレド発 8 時 49 分の列車はパルマの先まで行く列車でしたので、モデナまで足を延ばしました。ロゴレドから 1 時間 50 分です。パルマまで 1 時間 20 分ですから、パルマからは 30 分です。パルマの先まで行く列車は、この 8 時 49 分しかないようです。その他は、ピアチェンザ停まりかパルマ停まりになっています。片道が 10.55 ユーロで、ユーロスターに比べるとかなり割安です。モデナの駅からドゥオモ周辺まではバスもありますが、歩いて 15-20 分です。途中、ドゥカーレ宮殿やサンドミニコ教会もありますので、ゆっくりと歩いていくことをお勧めします。モデナの街はそれほど大きくありませんので、美術館を見学しても、2~3 時間あれば十分です。

帰りの列車は、ユーロスターか IC 以外に直通はありませんから、パルマまで行き、そこでミラノ行きに乗り換えることになります。30-40 分待つことがありますので、パルマの街を歩いて時間をつぶすのが良いと思います。パルマのドゥオモまで 15 分もあれば歩いて行けます。